

# 2011年度 第1四半期 決算説明会資料

富士フイルム ホールディングス株式会社

2011年7月29日



本資料における業績予想及び将来の予測等に関する記述は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。従いまして、実際の業績は、様々な要因によりこれらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

## 2011年度第1四半期連結業績

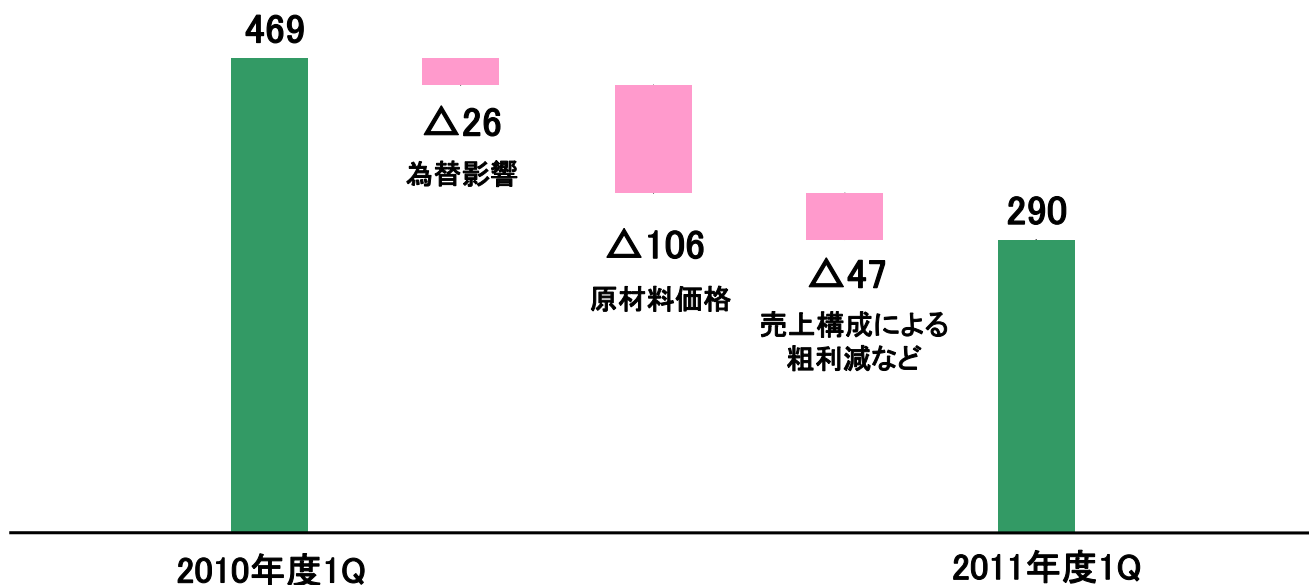
為替の円高や震災に伴う需要減少の影響などにより  
売上高、営業利益ともに減少

(単位:億円)

	2009年度 第1四半期		2010年度 第1四半期		2011年度 第1四半期		対前年増減	
	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
売上高	5,024	100.0%	5,474	100.0%	5,301	100.0%	-173	-3.2
営業利益	-27	-0.5%	469	8.6%	290	5.5%	-179	-38.1
税金等調整前 四半期純利益	12	0.2%	385	7.0%	281	5.3%	-104	-26.9
当社株主帰属 四半期純利益	-7	-0.1%	178	3.2%	145	2.7%	-33	-18.3
1株当たり 当社株主帰属 四半期純利益	-1.42円		36.35円		30.13円		-6.22円	
為替 :米ドル	97円		92円		82円		-10円	
:ユーロ	133円		117円		117円		0円	

## ■ 営業利益増減要因 (対2010年度1Q)

(億円)

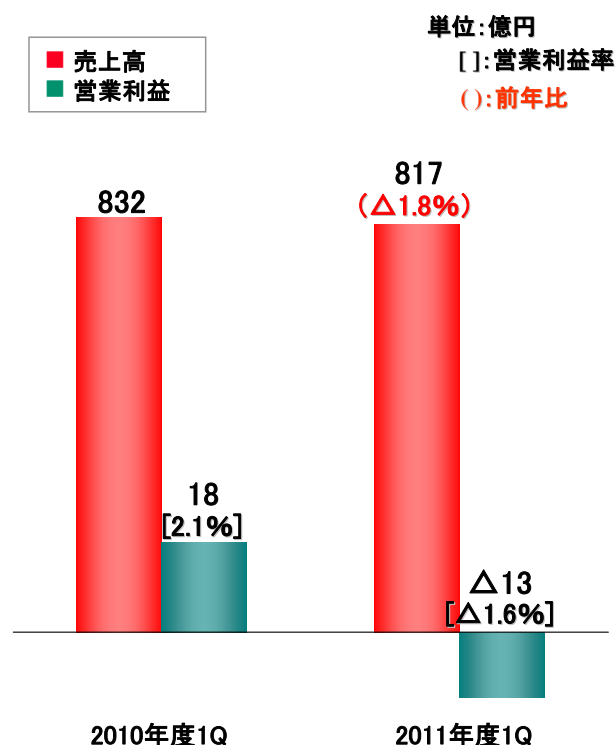


2

## 事業別セグメント情報

### ■ イメージング ソリューション

#### 売上高\*・営業利益



単位: 億円  
 []: 営業利益率  
 ( ): 前年比

#### 売上高

817億円 (前年比: 1.8%減)  
 (為替影響を除く 前年比: 2.7%増)

- デジタルカメラの販売が好調に推移したものの、為替の円高などの影響により減少。
- 為替円高影響 △38億円

#### 営業利益

△13億円 (赤字化)

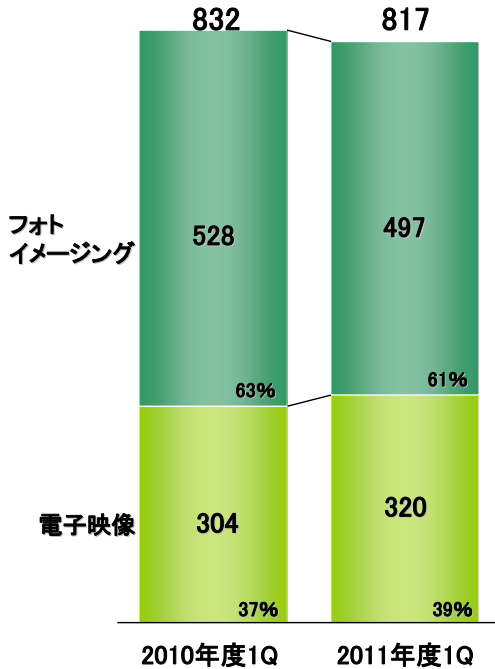
- コストダウンに取り組んだものの、為替の円高や銀など原材料価格高騰の影響などにより減少。

\*セグメント間取引消去後

3

## サブセグメント売上高

単位: 億円  
%: 売上構成比



**フォトイメージング** 497億円 (前年比: 6%減)

- 為替の円高や震災の影響により売上は減少。
- カラーペーパーは販売が好調で、販売数量が増加、シェアも拡大。

**電子映像** 320億円 (前年比: 5%増)

- 第1四半期の販売台数は、約280万台(前年比約4%増)。
- 「FinePix F550EXR」や「FinePix X100」「FinePix S3200」等特徴ある中高級モデルの販売が好調。単価上昇に貢献。
- ブランド力向上に向け、中高級モデルの販促活動を強化。

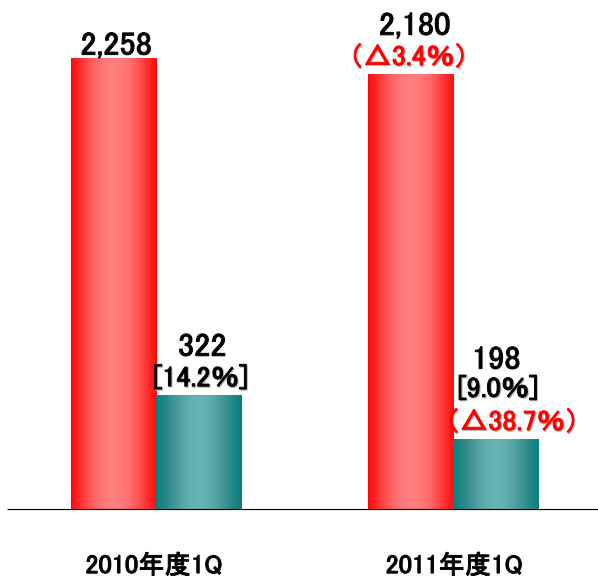
# 事業別セグメント情報

## ■ インフォメーション ソリューション

### 売上高\*・営業利益

■ 売上高  
■ 営業利益

単位: 億円  
[]: 営業利益率  
( ): 前年比



#### 売上高

2,180億円(前年比: 3.4%減)  
(為替影響を除く 前年比: 0.4%減)

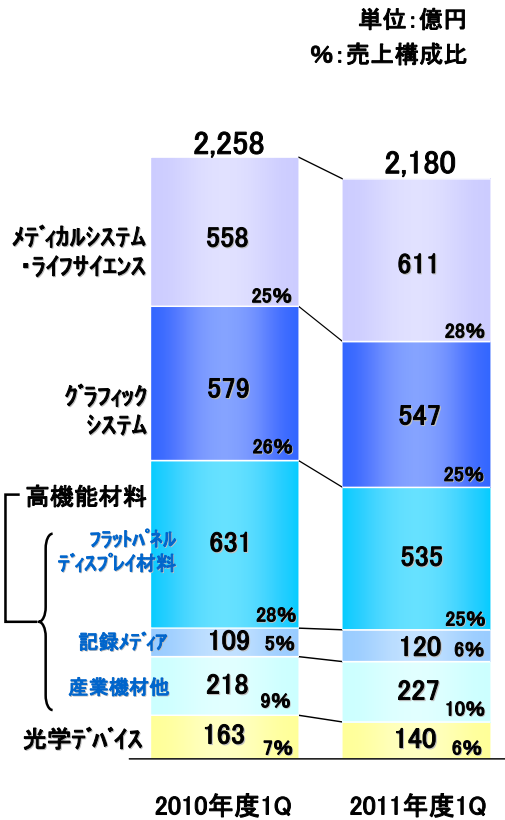
- 為替の円高や震災に伴う需要減少の影響などにより主要事業の売上が減少。
- フラットパネルディスプレイ材料事業が、需要の旺盛であった前年同期との比較では売上減少。
- 為替円高影響 △68億円

#### 営業利益

198億円(前年比: 38.7%減)

- コストダウンに取り組んだものの、為替の円高影響や銀、アルミなど原材料価格高騰の影響、売上減少により減少。

## サブセグメント売上高



**メディカルシステム・ライフサイエンス 611億円 (前年比: 10%増)**

- 円高などの影響を受けたものの売上は増加。
- 低価格・小型FCRの販売が好調に推移。DR「CALNEO」シリーズにカセットサイズの「CALNEO C 1417 Wireless」を発売する等ラインアップを拡充。
- 「SYNAPSE」等の医用画像情報ネットワークシステムは売上増加。
- ライフサイエンスは、3月に発売した「アスタリフト」の美白シリーズなどにより売上増加。
- 医薬品は、「ゾシン」「ジェニナック」等の販売が好調に推移。「T-705」国内製造販売承認申請中。

**グラフィックシステム 547億円 (前年比: 5%減)**

- 円高や震災に伴う需要減により売上減。
- ワイドフォーマットUVインクジェットシステムの販売を強化。

**フラットパネルディスプレイ材料 535億円 (前年比: 15%減)**

- 直前四半期比では、販売は堅調に推移
- 日本のエコポイントや中国の家電普及政策の効果などにより液晶テレビの需要が旺盛であった前年同期と比較すると売上は減少。

**産業機材他 227億円 (前年比: 5%増)**

- イメージセンサー用カラーモザイク、ArF液浸レジストなど電子材料が伸長。

**光学デバイス 140億円 (前年比: 14%減)**

- セキュリティ用レンズ、TVカメラ用レンズの売上が拡大するも、携帯電話用レンズの売上が減少し、売上減。

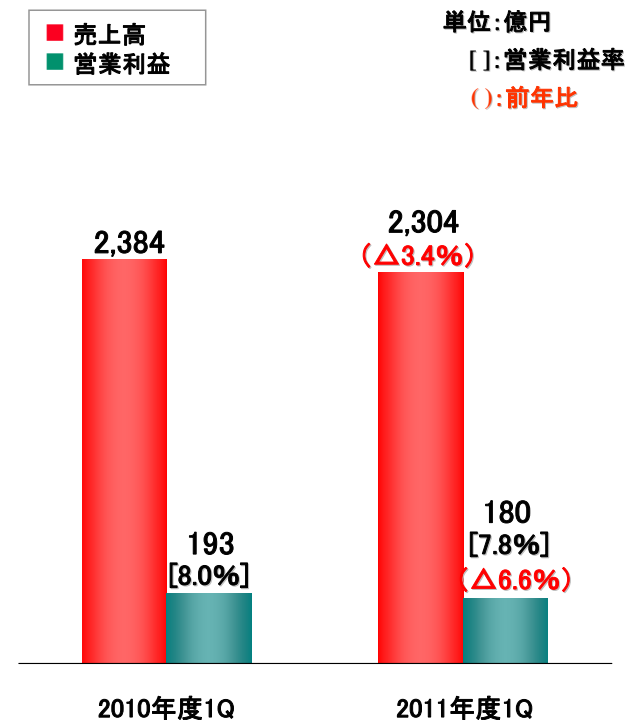
\*「ゾシン」: 肺炎、敗血症、腎盂腎炎、複雑性膀胱炎に用いる注射剤

「ジェニナック」: 呼吸器、耳鼻科領域の感染症に用いる経口剤

# 事業別セグメント情報

## ドキュメントソリューション

### 売上高\*・営業利益



### 売上高

2,304億円 (前年比: 3.4%減)  
(為替影響を除く 前年比: 1.9%減)

- アジア・オセアニア地域での成長が持続した一方、国内は震災や景況感悪化の影響により売上減。米国ゼロックス向け輸出も減少。
- 為替円高影響 △34億円

### 営業利益

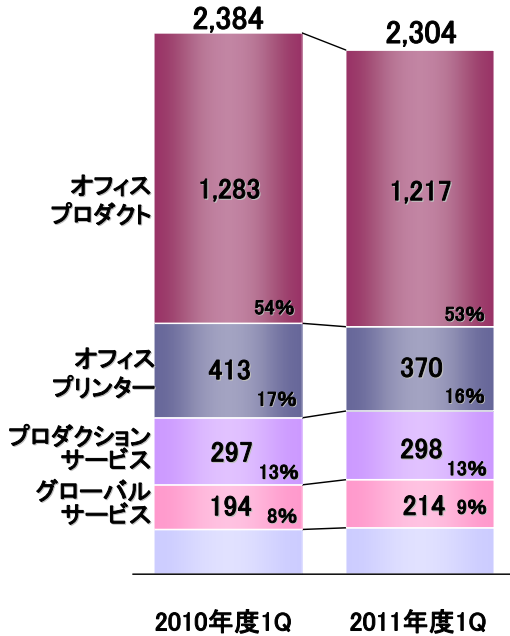
180億円 (前年比: 6.6%減)

- 経費効率の向上に取り組んだものの、売上の減少などにより減少。

\*セグメント間取引消去後

## サブセグメント売上高

単位: 億円  
%: 売上構成比



### オフィスプロダクト

1,217億円 (前年比: 5%減)

- 国内はカラー機の販売台数が増加。震災後の景況感の悪化や節電対応等により、コピー枚数は減少。
- アジア・オセアニア地域では、カラー機、白黒機とも販売台数が増加。米国ゼロックス向けはカラー機の増加により出荷台数が増加。

### オフィスプリンター

370億円 (前年比: 10%減)

- 国内は新商品効果によるカラー機の販売増により、販売台数は前年並み。
- アジア・オセアニア地域では、2010年発売の低価格・環境配慮型コンパクトLEDプリンターの販売好調により、販売台数が大幅に増加。

### プロダクションサービス

298億円 (前年比: 横ばい)

- 国内はライトプロダクション・カラーシステムの販売増により、販売台数が増加。
- アジア・オセアニア地域では、エントリープロダクション・カラーシステムの販売好調により、販売台数が増加。

### グローバルサービス

214億円 (前年比: 10%増)

- アジア・オセアニア地域での伸長により売上が増加。

## 2011年度 通期業績予想

(単位: 億円)

	2010年度実績		2011年度予想		対前年増減	
	金額	%	金額	%	金額	%
売上高	100.0%	22,171	100.0%	23,400	+1,229	+5.5
営業利益	6.2%	1,364	6.8%	1,600	+236	+17.3
税金等調整前当期純利益	5.3%	1,171	6.6%	1,550	+379	+32.4
当社株主帰属当期純利益	2.9%	639	3.4%	800	+161	+25.3
1株当たり当社株主帰属当期純利益		131.30円		166.08円		+34.78円
1株当たり年間配当金		30円		35円		+5円
為替 : 米ドル		86円		80円		-6円
: ユーロ		113円		116円		+3円

為替感応度(年間/営業利益) 米ドル 11億円 ユーロ 7億円

■ 国内・海外別連結売上高

(単位:億円)

	2010年度 第1四半期 ※		2011年度 第1四半期		
	構成比(%)		構成比(%)		前年比(%)
日本	45.5	2,493	44.4	2,354	-5.6
米州	15.1	828	15.2	804	-2.9
欧州	14.0	765	14.0	741	-3.2
内、中国	8.0	435	9.6	512	+17.5
アジア他	25.4	1,388	26.4	1,402	+1.0
海外	54.5	2,981	55.6	2,947	-1.2
合計	100.0	5,474	100.0	5,301	-3.2

※ 一部取引について仕向地の定義を変更したことにより2010年度に遡りリステート

参考データ

■ 設備投資、減価償却費

(単位:億円)

	2009年度		2010年度		2011年度	
	1Q	年度	1Q	年度	1Q	年度(予想)
イメージング	16	91	17	81	31	
インフォメーション	68	285	91	618	138	
ドキュメント	123	403	17	195	21	
コーポレート	0	0	0	5	2	
設備投資 ※	207	779	125	899	192	1,300
イメージング	53	219	23	101	25	
インフォメーション	234	991	194	774	175	
ドキュメント	162	736	166	658	142	
コーポレート	1	5	1	38	7	
減価償却費	450	1,951	384	1,571	349	1,750
有形固定資産の 減価償却費 ※	304	1,351	252	1,066	222	1,250

※ ドキュメントソリューション部門のレンタル機器を除く。

■ 研究開発費、販売費及び一般管理費

(単位:億円)

	2010年度		2011年度	
	1Q	年度	1Q	年度(予想)
イメージング	19	76	17	
インフォメーション	158	697	175	
ドキュメント	162	654	157	
コーポレート	52	226	53	
研究開発費	390	1,653	402	1,800
<売上高比>	7.1%	7.5%	7.6%	7.7%
販売費及び 一般管理費	1,395	5,706	1,435	6,000
<売上高比>	25.5%	25.7%	27.0%	25.6%

12

参考データ

■ キャッシュフロー

(単位:億円)

	09年度1Q	10年度1Q	11年度1Q
四半期純利益	-6	202	174
減価償却費	450	384	349
受取債権の増(-)減(+)	355	300	298
棚卸資産の増(-)減(+)	126	-252	-182
営業債務の増(+)-減(-)	-148	-70	-273
未払法人税等他負債の増(+)-減(-)	162	129	203
その他	17	145	-62
営業活動によるCF	956	838	507
設備投資	-197	-157	-243
ソフトウェアの購入	-29	-34	-36
有価証券・投資有価証券等の売却・購入	51	-60	151
その他	-53	-32	-68
投資活動によるCF	-228	-283	-196
フリーキャッシュフロー	728	555	311
営業活動によるCF+設備投資	759	681	264

13

■ 連結貸借対照表

(単位:億円)

	09年度末	10年度末	11年6月末		09年度末	10年度末	11年6月末
現金及び現金同等物	4,062	3,131	3,307	長短社債及び借入金	2,956	1,896	1,891
受取債権	4,950	5,022	4,696	支払債務	2,616	2,614	2,289
棚卸資産	3,031	3,422	3,589	その他流動固定負債	3,944	4,069	4,141
有価証券 その他流動資産	2,062	1,533	1,536	負債計	9,516	8,579	8,321
流動資産計	14,105	13,108	13,128	株主資本計	17,461	17,225	17,264
有形固定資産	6,017	5,641	5,560	非支配持分	1,297	1,284	1,284
営業権	3,259	3,444	3,457	純資産計	18,758	18,509	18,548
投資有価証券 その他資産	4,893	4,895	4,724	負債・純資産合計	28,274	27,088	26,869
固定資産計	14,169	13,980	13,741				
資産合計	28,274	27,088	26,869				

(単位:円)

期末日為替レート	09年度末	10年度末	11年度6月末
米ドル	93	83	81
ユーロ	125	118	117

■ 富山化学工業(株)新薬開発スケジュール

開発番号	薬効	地域	開発段階					申請	剤形
			非臨床試験	P I	P II	P III			
T-614	抗リウマチ剤	日本	[進捗バー]						経口
T-3811	ニュータイプのキノロン系合成抗菌剤	日本	[進捗バー]						注射*
		米国	[進捗バー]						経口/注射
		欧州	[進捗バー]						
T-705	抗ウイルス剤	日本	[進捗バー]						経口
		米国	[進捗バー]						
T-817MA	アルツハイマー型認知症治療剤	米国	[進捗バー]						経口
T-5224	抗リウマチ剤	日本	[進捗バー]						経口
		海外	[進捗バー]						
T-2307	抗真菌剤	米国	[進捗バー]						注射
T-1106	抗ウイルス剤	日本	[進捗バー]						経口

\* 経口剤は「ジェニナック」として発売

T-705は、日本においてPⅢが終了し、製造販売承認申請済み。



■ 為替、人員

● 為替

(単位:円)

	2010年度					2011年度	
	1Q	2Q	3Q	4Q		1Q	(予想)
米ドル	92	86	83	82	86	82	80
ユーロ	117	111	112	113	113	117	116

● 人員

(単位:人)

	2010.6末	2010.9末	2010.12末	2011.3末	2011.6末
連結	75,721	77,616	78,177	78,862	79,367

**FUJIFILM**

わたしたちは、先進・独自の技術をもって、  
 最高品質の商品やサービスを提供する事により、  
 社会の文化・科学・技術・産業の発展、  
 健康増進、環境保持に貢献し、  
 人々のクォリティ オブ ライフのさらなる向上に寄与します。

富士フイルム ホールディングス株式会社

経営企画部 IR室

<http://www.fujifilmholdings.com>